

# 令和4年度 施策評価シート

基本目標		「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	130	水と緑を活かした、美しい景観をつくる
施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる
施策の目標	魅力的な水辺空間や緑豊かな公園が、区民や来街者にうるおいとやすらぎをもたらす、にぎわうとともに、まちの至るところに緑が増え、水と緑を親しむまちになっています。	

## 1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「墨田区の公園や水辺を日常的に利用している」区民の割合									
	基準年(H27)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					50.0%					60.0%
実績	43.8%				53.8%					
指標名	緑被率									
	基準年(H27)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					12.2%					13.0%
実績	11.4%									

## 2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
<p>一定規模以上の建設事業に対する開発指導要綱等に基づく指導により、みどり率は徐々に増加している。しかし、本区は住宅等が密集しているため、緑化に適した場所が限られており、緑地の整備は進みにくいことから、大幅なみどり率の向上は難しい状況である。</p> <p>引き続き、みどり率の向上を進めながら、まちなか緑化(緑と花のまちづくり推進地域制度)や立体緑化(屋上緑化・壁面緑化)を推進して、日々の暮らしにやすらぎとうるおいを感じる「緑の満足度」を、区民・事業者・区の協働により高めていく。</p> <p>区は区有地や公共施設・学校における緑化を率先して行うとともに、区施設の既存屋上緑化等について、良好な緑地を維持する必要がある。</p>	R1	30,469
	R2	21,477
	R3	22,828

## 3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	<p>緑被率は、民間建築物に対する指導等により少しずつ増加している。</p> <p>また、墨田区緑と生物の現況調査(平成31年3月)で実施したアンケート結果では、10年前より緑が増えていると感じる割合(「増えた」+「少し増えている」)が64.6%に増えている。</p>

## 4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。

### 【上記の判断理由】

昭和47年の「緑化宣言」から50年を迎えた。また、緑化ボランティアの活動拠点である「緑と花の学習園」は開園40周年となった。半世紀にわたる着実な緑化施策の展開により、緑被率は昭和48年と比較して約2倍まで向上した。「緑化宣言」や「環境区宣言」の趣旨を踏まえ、うるおいあふれる環境にやさしく暮らしやすいまちづくりを実現するため、現在の緑化施策に新型コロナウイルス感染症対策を取り入れて、最重要課題として実施していく必要がある。

### 【今後の具体的な方針】

多くの人の目に留まる地域に、区民参加を得てまちなか緑化(緑と花のまちづくり推進地域制度)事業実施地域を増やすことで、緑を通じて若年層も巻き込んだボランティアの担い手づくりを進めて、区民の緑化意識や緑の満足度の向上を図る。

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
				評価対象年度		
1	第二次墨田区緑の基本計画策定	1,410	7,037	8,447		令和3年度
2	緑と花の学習園及び緑の救急隊運営	10,874	9,675	20,549	9300	改善・見直しのうえ継続
					9132	令和3年度
3	緑と花のまちづくり推進事業費	8,561	5,277	13,838	17	改善・見直しのうえ継続
					23	令和3年度
4	緑と花のサポーター制度経費	202	6,157	6,359	40	改善・見直しのうえ継続
					30	令和3年度
5	壁面緑化推進費	891	9,675	10,566	25	改善・見直しのうえ継続
					33	令和3年度
6	公共施設・民間建築物の屋上等緑化推進事業費	298	3,518	3,816	2,396.00	改善・見直しのうえ継続
					2,337.18	令和3年度
7	緑のへい設置奨励費	0	880	880	1,143.00	改善・見直しのうえ継続
					1,150.03	令和3年度
8	森林整備体験事業	111	4,398	4,509	45	改善・見直しのうえ継続
					10	令和3年度
9	特別保全樹木補助事業	289	880	1,169	30	改善・見直しのうえ継続
					30	令和3年度
10	緑化推進事業	296	6,157	6,453	27.59	改善・見直しのうえ継続
					27.2	令和3年度
11						
12						

# 令和4年度 事務事業評価シート

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事業名	緑の基本計画		1
目的	「墨田区緑の基本計画」(計画期間:平成7年度～平成32年度、平成7年度策定・平成22年度改定)は、令和2年度までの計画であるため、これまで進めてきた施策の評価・見直しを行い、社会状況等の変化を考慮した第二次墨田区緑の基本計画を策定する。また、本計画は、生物多様性基本法に基づく生物多様性地域戦略も包含するものとする。		主管課・係(担当)
			環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対象者	区民事業者、墨田の自然環境		
根拠法令 関連計画	都市緑地法、生物多様性基本法、すみだ環境基本条例、第二次すみだ環境の共創プラン、墨田区緑の基本計画		
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤2
事業内容	令和元年度は区内部で現行計画の進捗状況、本区の緑と生物の課題の検討を経て、計画骨子を作成した。令和2年度は骨子をもとに、計画素案を作成した。令和3年度は墨田区環境審議会へ諮問を行い、12月にパブリックコメントを実施し、その結果を反映した計画案を作成した。令和4年2月に墨田区環境審議会からの答申を経て、令和3年度3月に計画を策定した。本計画策定後は、各種環境イベント及びウェブで区民に広く計画内容を周知する。そして、生物多様性の重要性を伝え、区民を巻き込み自然観察会等のイベントを通じ保全活動を実施していく。		
経過	開始年度	令和元年度	終了予定 令和3年度
	平成7年度 緑の基本計画策定(計画期間:平成7年度から令和3年度まで) 平成22年度 緑の基本計画中間改定 令和3年度 第二次墨田区緑の基本計画～墨田区生物多様性地域戦略～策定(計画期間:令和4年度から令和22年度まで)		
議会質問の状況	令和3年12月6日地域産業都市委員会:堀議員「本計画の中で、緑被率13%は努力目標ということになっているが、達成が難しい目標数値は落とすべきだと思う」という質問があった。 [区長答弁]内容については、みどり率との整合性もみながら検証していく。 [考え方]緑被率については、過去の経緯(23区の緑の指標)などから削除することは難しい。		
その他特記事項	当初、墨田区緑の基本計画の計画期間は平成7年から令和2年までであったが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、計画期間を都と協議し、令和3年度まで延伸した。それに伴い、一部予算を繰越明許した。		

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)				60	4,115	1,513	0
A.決算額(令和4年度は見込み)				15	2,755	1,410	0
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	15	2,755	1,410	0
執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	25.0%	67.0%	93.2%	#DIV/0!
B.人コスト				10,336	10,586	7,037	
総事業決算額(A+B)		0	0	10,351	13,341	8,447	
予算書P(令和4年度)	P130 10	執行実績報告書P(令和3年度)		P66 10			

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝	60	報償費	講師謝礼	60			
委託料	計画策定コンサル委託	2,695	委託料	計画策定コンサル委託	1,155			
				計画印刷費	195			

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	第二次墨田区緑の基本計画策定庁内検討委員会開催回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		3		目標				4
				実績				4
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	33				
		実績	1					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	委員の意見を聞いているかどうかを指標として設定。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	緑に対する区民の満足度				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
30		令和7年度	目標					
			実績			23.5		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標					29.15		
	実績	27.2						
指標の選定理由及び目標値の理由								
第二次墨田区緑の基本計画の目標1「緑の満足度の向上」を目標としており、その指標として墨田区住民意識調査で、「住宅周辺の「緑の豊かさ」について「良い」「やや良い」と回答している区民の割合」を設定しているため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	墨田区環境審議会等での審議に加え、区民アンケートの実施や、公園ボランティア、区内の高校の生物部に所属している生徒へのヒアリング実施など、区民等の意見を伺う機会を設定し、第二次墨田区緑の基本計画の策定を行った。今後は、計画の施策に沿って事業を展開していく。

課題・問題点

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	緑と花の学習園及び緑の救急隊運営				2
目的	区民に対する緑化啓発				主管課・係(担当)
					環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対象者	一般区民。緑を身近に感じて、安らぎを求める区民。				
根拠法令 関連計画	墨田区の緑化推進に関する要綱第2条 緑の救急隊設置要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1、会計年度任用職員1 委託先:シルバー人材センター
事業内容	昭和47年「緑化宣言」、昭和56年に「緑と花の学習園」を開園し、積極的に緑化を推進している。 緑化啓発を目的とする学習園管理運営のほか、緑化相談、民有地における植物の適正管理に関する現地指導。				
経過	開始年度	昭和56年度		終了予定	特になし
	昭和47年3月28日 緑化宣言 昭和50年4月1日 緑の救急隊設置要綱適用(昭和49年5月制定) 昭和56年4月1日 緑と花の学習園開園				
議会質問 の状況	令和元年度 3定 緑と花の学習園ブロック塀への対応(令和2年3月ブロック塀撤去・ネットフェンス再整備済)				
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		12,376	12,142	23,510	11,727	11,619	11,164
A.決算額(令和4年度は見込み)		9,872	9,612	22,240	10,754	10,874	11,164
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		9,872	9,612	22,240	10,754	10,874	11,164
執行率(%)		79.8%	79.2%	94.6%	91.7%	93.6%	100.0%
B.人コスト			21655	11,320	7,202	9,675	
総事業決算額(A+B)		9,872	31,267	33,560	17,956	20,549	
予算書P(令和4年度)	P130 1	執行実績報告書P(令和3年度)			P65 1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	会計年度任用職員	3,459	報酬	会計年度任用職員	3,395	報酬	会計年度任用職員	3,457
給料	会計年度任用職員	2,133	給料	会計年度任用職員	2,133	給料	会計年度任用職員	2,134
職員手当等	会計年度任用職員	1,565	職員手当等	会計年度任用職員	1,608	職員手当等	会計年度任用職員	1,640
報償費	講師謝礼	0	報償費	講師謝礼	0	報償費	講師謝礼	10
旅費	会計年度任用職員	0	旅費	会計年度任用職員	2	旅費	会計年度任用職員	5
需用費	消耗品の購入等	722	需用費	消耗品の購入等	741	需用費	消耗品の購入等	718
役務費	高木剪定等	580	役務費	高木剪定等	461	役務費	高木剪定等	553
委託料	管理業務委託	2,070	委託料	管理業務委託	2,456	委託料	管理業務委託	2,417
工事請負費	園内維持補修等	150	工事請負費	園内維持補修等	0	工事請負費	園内維持補修等	150
原材料費	物品購入	75	原材料費	物品購入	78	原材料費	物品購入	80

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	緑化講習会等の参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		170	令和7年度	目標		1450	1460	1470
				実績	1404	1053	880	691
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1480	1490	170	170	170	170
		実績	34	79				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑化講習会等を緑と花の学習園等で開催することで、緑化の推進・啓発を図り新たな緑を増やすことに繋がるため、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講習会等の規模を縮小して実施しているため目標値を下げた。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	緑と花の学習園来園者数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
9300		令和7年度	目標		10700	10750	10800	
			実績	10630	9606	9393	9303	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		10850	10900	9300	9300	9300	9300	
	実績	8170	9132					
指標の選定理由及び目標値の理由								
緑化相談を通じて既存の緑(植物)を適正に維持管理するための知識・手段を提供し、新たな緑を創出する意識を向上させるため、目標値については、平均来園者数から再設定をした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	みどり率・緑の満足度の向上に向けて、本園を拠点としてソフト面を担う緑と花のサポーターの養成をさらに進めるとともに、より多くの区民の参加を得ながら緑化の諸施策をさらに推進していく。また、新型コロナウイルス対策を考慮した講習会を開催する等柔軟に対応していく。千葉大学と連携して、持続可能なボランティア活動について調査研究を進めていく。

課題・問題点
「見て、学び、相談できる、緑と花の学習園」という目的達成のため、また、緑化推進を区民や緑と花のサポーター(緑化ボランティア)と協働で進める際の活動拠点になるように、園内の植物や施設の整備・改修を行う必要がある。園内の植物が大きく生長してきているため、他の植物との競合や隣地への越境などが懸念されることから、適宜伐採する等の対策が必要である。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位			
事業名	緑と花のまちづくり推進事業費				3	
目的	区民・事業者・区等の連携により、身近に感じられる緑を増やし、日々の暮らしにやすらぎとうるおいを感じられる空間を創造する。				主管課・係(担当)	
					環境保全課緑化推進担当 田島	
対象者	区内の景観美化、緑化に意欲的な町会及び自治会等					
根拠法令 関連計画	第二次墨田区環境の共創プラン 第二次墨田区緑の基本計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2、会計年度任用職員1	
事業内容	<p>・町会や自治会を対象に、「緑と花のまちづくり推進地域」を選定し、視覚的効果のある場所にプランター等を設置して、緑と花のサポーターの協力を得て、区が助成する花苗、土、肥料などを使い、地域住民が植栽の維持管理を行い、うるおいのあるまちづくりを推進する。</p> <p>・千葉大学と緑の基本計画及び環境共創プランの実現に向けた取組として、人と自然が共創する生活環境の実現に向けた共同研究を行い、まちなか緑化の持続・発展を図るため、環境ボランティアを育成していく。</p>					
経過	開始年度	平成22年度		終了予定		
	<p>【実施地域及び開始年度】</p> <p>・平成22年度:十間橋通り、丸井錦糸町店(平成29年度プランター全面撤去)、新堅川</p> <p>・平成23年度:プリメール柳島、鐘ヶ淵通り、押上2丁目(平成30年度プランター全面撤去)</p> <p>・平成24年度:おしなり商店街、本所吾妻橋商店街、北十間川</p> <p>・平成25年度:向島1丁目町会、小梅1丁目町会</p> <p>・平成29年度:曳舟西ビューハイツ、京島2丁目町会、京島南町会、京島3丁目北町会、京島3丁目中央町会、京島3丁目東町会、立川1丁目町会</p> <p>・令和元年度:業平3丁目町会</p> <p>・令和2年度:たもんじ交流農園、八広はなみずき高齢者支援センター、菊川2丁目町会</p> <p>・令和3年度:墨田聖書教会、隅田中央町会、すみだ晴山会</p> <p>・令和4年3月末現在 23地域</p>					
議会質問の状況	令和3年3月予特 千葉大学との連携について					
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 年に3回(4月、7月、11月)、区民から参加者を募り、東京スカイツリー周辺地域の花の植替え講習会を実施し、北十間川及びおしなり商店街に設置しているハンギングバスケットと、プランターを作成している。					

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		4,249	4,672	5,366	4,554	8,668	7,549
A.決算額(令和4年度は見込み)		3,125	3,111	3,548	3,335	8,561	7,549
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		3,125	3,111	3,548	3,335	8,561	7,549
執行率(%)		73.5%	66.6%	66.1%	73.2%	98.8%	100.0%
B.人コスト			5,906	5,119	4,440	5,277	
総事業決算額(A+B)		3,125	9,017	8,667	7,775	13,838	
予算書P(令和4年度)	P130 8	執行実績報告書P(令和3年度)			P66 8		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	花苗等	3,328	報酬	会計年度任用職員	376	報酬	会計年度任用職員	376
委託料	花苗育成委託	7	報償費	講師謝礼	20	報償費	講師謝礼	30
			需用費	花苗等	3,115	需用費	花苗等	3,403
			委託料	千葉大学共同研究等	5,050	役務費	郵送料等	116
						委託料	千葉大学共同研究	4,000

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	プランター、花壇、ハンギングバスケット数				単位	基
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		460	令和7年度	目標	400	420	425	430
				実績	412	420	430	442
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	435	440	445	450	455	460
	実績	460	501					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	設置個数を指標にすることにより、緑化が点から面や線で展開していることが確認できるため。目標値については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛により、身近な緑にふれる機会も増え、さらに緑化のニーズが高まると予測できるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	まちなか緑化「緑と花のまちづくり推進地域事業」実施地域				単位	地域
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
21		令和7年度	目標	11	12	13	14	
			実績	11	17	16	17	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		16	17	18	19	20	21	
実績	20	23						
指標の選定理由及び目標値の理由								
地域数は、本事業を利用してどの程度の地域のみなさんが、うるおいやすらぎを創出する活動をされているかの目安となるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	新規事業地域が、3地域増加した。引き続き、新規事業地域を増やすため、関係機関と情報共有を図っていく。

課題・問題点
新型コロナウイルス感染防止のための「新しい日常」を取り入れた実施方法を検討して、ボランティア活動を安全に継続していく必要がある。 天候が不順だと植栽管理に弊害が生じる。また、参加者の高齢化により今後の活動が縮小していく可能性がある。



施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	緑と花のサポーター制度経費				4
目的	公募した「緑と花のサポーター」が「緑と花の学習園」を活動拠点として、「まちなか緑化」などの植物の手入れや、区が主催するイベント・緑化講習会にボランティアとして参加することで、区民の緑化に対する意識の向上、緑化に関心のある人のネットワークの拡大につなげていく。				主管課・係(担当)
					環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対象者	緑に関心のある区民				
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン 墨田区緑の基本計画				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	会計年度任用職員1
事業内容	「緑と花の学習園」「緑と花のまちづくり推進地域」などの維持管理や、緑化推進のための啓発事業等のサポート。また、植物の維持管理に必要な知識と経験を身に付けてもらうための研修会等を開催する。これにより緑を愛する区民を増やしていく。				
経過	開始年度	平成14年度		終了予定	
	平成12年度から区民ボランティアの参加により、公的未事業化用地(空き地)の除草作業を実施してきた。平成14年4月1日、その参加者が他の公共緑地にも活動の場を広げたいということから、本制度を創設した。(発会式平成14年5月15日) 平成30年度 新規登録者を増やすため、若年層向け「緑化ボランティア体験」開催(名称:園芸・ガーデニング体験)				
議会質問の状況					
その他特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		283	285	277	277	276	274
A.決算額(令和4年度は見込み)		265	257	222	221	202	274
財源	国	0	0	0	0	0	
	都	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
一般財源		265	257	222	221	202	274
執行率(%)		93.6%	90.2%	80.1%	79.8%	73.2%	100.0%
B.人コスト			10,828	9,351	882	6,157	
総事業決算額(A+B)		265	11,085	9,573	1,103	6,359	
予算書P(令和4年度)	P130 5	執行実績報告書P(令和3年度)			P65 5		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	20	需用費	消耗品費	202	報償費	講師謝礼	40
需用費	消耗品費	201				需用費	消耗品費	202
						役務費	郵送料	3
						使用料及び賃借料	高速道路使用料	29

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	緑と花のサポーター登録数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		55	令和7年度	目標		50	50	50
				実績	47	47	48	47
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	55	55	55	55	55	55
	実績	46	46					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	安定したサポーター活動を行うため、登録人数を指標とした。 健康状態や家庭環境の変化に伴い、活動をやめる方もいるので、安定した登録者数を確保することが必要である。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	緑と花のサポーター実働数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		40	令和7年度	目標		35	35	35
				実績	31	30	30	30
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	40	40	40	40	40	40
実績	29	30						
指標の選定理由及び目標値の理由								
ボランティア活動を継続的かつ安定して行うため、活動状況(登録者のうち実際に活動(1回以上/年度)した人数)を指標とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	幅広い年齢層の新規ボランティアの募集と、リーダー的な役割を担うボランティアの育成を図り、花と緑に関する更なる活動の場や内容を検討・実施する。

課題・問題点
サポーター活動で得た技術や知識の共有を図りつつ、活動を拡大していくためサポーターとの連携を強化していく。 新型コロナウイルス感染拡大防止のための「新しい日常」を取り入れた実施方法を検討して、ボランティア活動を安全に継続していく必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	壁面緑化推進費				5
目的	地域の緑の満足度を高めるため、壁面緑化の推進を図る。				主管課・係(担当)
					環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対象者	壁面緑化整備補助金を利用する区民。区内の民間建築物。				
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン、墨田区緑の基本計画 墨田区の緑の推進に関する要綱(第5条)、墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3、会計年度任用職員1
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンギングバスケット講習会</li> <li>・緑のカーテンモデル設置支援(庁舎・公共施設)</li> <li>・緑のカーテン講習会</li> <li>・緑のカーテンコンテスト</li> <li>・屋上・壁面緑化見学ツアー(緑の探検隊)</li> <li>・壁面緑化整備補助金</li> <li>・学校の環境施設維持補修</li> <li>・庁舎壁面緑化見本コーナー</li> </ul>				
経過	開始年度				終了予定
	<p>昭和50年頃より苗木の無料配布時にツル性植物も取り入れる。 平成9年度、区有施設及び民間施設の立体緑化モデル事業再開 平成21年度、壁面緑化補助金新設 平成23年度～平成29年度、すみだエコポイント事業の一環として緑のカーテンポイント実施 平成27年度、緑のカーテンコンテスト開始(平成26年度試行) 平成28年度、学校の環境施設維持補修計画策定(毎年度改定中) 平成29年度、屋上・壁面緑化見学ツアー(緑の探検隊)開始</p>				
議会質問 の状況	<p>平成30年10月 決特 駐輪場壁面緑化の整理、業平小壁面緑化の現状、既存壁面緑化の維持管理の徹底 平成30年2月 予特 駐輪場壁面緑化の改善、庁舎壁面に壁面緑化新設</p>				
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		6,758	1,847	1,448	1,360	1,360	1,277
A.決算額(令和4年度は見込み)		6,476	1,357	1,016	707	891	1,277
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	1,620	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		4,856	1,357	1,016	707	891	1,277
執行率(%)		95.8%	73.5%	70.2%	52.0%	65.5%	100.0%
B.人コスト			6,890	6,989	7,940	9,675	
総事業決算額(A+B)		6,476	8,247	8,005	8,647	10,566	
予算書P(令和4年度)	P130 2	執行実績報告書P(令和3年度)			P65 2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	36	報償費	講師謝礼	61	報償費	講師謝礼	120
需用費	消耗品の購入等	633	需用費	消耗品の購入等	576	需用費	消耗品の購入等	509
委託料	会場設営撤去委託	38	委託料	会場設営撤去委託	38	委託料	会場設営撤去委託	250
			使用料及び賃借料	講習会会場使用料	6	使用料及び賃借料	講習会会場使用料	18
			負担金補助及び交付金	壁面緑化整備助成金	210	負担金補助及び交付金	壁面緑化整備助成金	380

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	ハンギングバスケット講習会実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		4	令和7年度	目標		3	3	3
				実績	2	4	5	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	4	4	4	4
	実績	3	1					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	指標の実績数は目標数値の前後で推移している。今後も緑の満足度の向上に向けて推進していく。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	公共施設への緑のカーテン設置支援				単位	箇所
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
27		令和7年度	目標		23	23	24	
			実績	21	17	18	26	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		24	25	25	26	26	27	
実績	25	33						
指標の選定理由及び目標値の理由								
人通りの多い公共施設における緑のカーテンの設置を区が率先して行うことにより、区民に緑のカーテンの効果を実感してもらうとともに、区民・事業者による壁面緑化の取組に向けた機運の醸成を図る。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	地上部に緑地の設置が難しい本区の土地利用の現状で、壁面緑化や緑のカーテンの設置により緑の満足度の向上を図ることは、有効な緑化推進策であることから、引き続きPRを進める。

課題・問題点
<p>新型コロナウイルス対策を考慮した、新しい情報発信を行い壁面緑化(緑のカーテン)への関心を高めることが課題である。緑のカーテンコンテストの一次審査(投票)にはWEB投票を導入した。</p> <p>区民向けに個人でもできる緑のカーテンづくりの普及をはかり、その効果(緑の満足度の向上・ヒートアイランド現象の緩和)についてPRする必要がある。</p> <p>緑のカーテンモデル設置支援では、施設の設置状況に応じた支援資材の有効活用を図り経費節減に努めた。</p>

補助金名称	壁面緑化整備補助金		主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱		環境保全課緑化推進担当	
補助概要	墨田区内に新たに壁面緑化をしようとする者に1㎡当たり1万円又は、工事費（税抜）の半額のいずれか少ない額を助成する。		03-5608-6208	
目的	緑の満足度の向上、地球温暖化防止やヒートアイランド現象の緩和に寄与する壁面緑化の民有地への設置を促すため。			
対象	新たに壁面緑化をしようとする建築物を所有する個人及び中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人			
基準	区独自基準			
補助条件	新たに道路に沿った建築物の壁面に補助器具を設置してつる性植物等で覆い、壁面を緑化する場合。			
経過	開始年度	平成21年度	終了予定	
	平成22年1月14日 壁面緑化整備補助制度開始。 平成28年4月1日 「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。壁面緑化補助器具の種類の規定、要綱解釈の明確化。 平成31年4月1日 「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。消費税の取扱いについて明記。			
議会質問の状況	平成30年10月 決特 駐輪場壁面緑化の整理、業平小壁面緑化の現状、既存壁面緑化の維持管理の徹底 平成30年2月 予特 駐輪場壁面緑化の改善、庁舎壁面に壁面緑化新設			
その他特記事項				

予算・決算額推移（千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算額（事業費）		400	380	380	380	380	380
決算額（令和4年度は見込み）		400	80	0	0	210	380
財源	国	0	0	0	0	0	
	都	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
一般財源		400	80	0	0	210	380
執行率（％）		100.0%	21.1%	0.0%	0.0%	55.3%	100.0%

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	壁面緑化助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	令和7年度	目標		2	2	2
				実績	0	1	1	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	0	1				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	民有地の壁面緑化推進のために助成制度を実施している。建築物の構造上の問題や、工事費が比較的高額であることから、年度ごとの大幅な件数の増加は望めない。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	助成による壁面緑化面積（事業開始年度からの累計）				単 位	m <sup>2</sup>
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		108.30	令和7年度	目標		68.30	73.30	78.30
				実績	63.30	116.90	125.30	125.30
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		83.30	88.30	93.30	98.30	103.30	108.30	
実績		125.30	146.30					
指標の選定理由及び目標値の理由								
各年度の申請には差異があるため、累計での目標値とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	地上部に緑地の設置が難しい本区の土地利用の現状で、壁面緑化や緑のカーテンの設置により緑の満足度の向上を図ることは、有効な緑化推進策であることから、引き続きPRを進める。

課題・問題点
<p>新型コロナウイルス対策を考慮した、新しい情報発信を行い壁面緑化（緑のカーテン）への関心を高めることが課題である。緑のカーテンコンテストの一次審査（投票）にはWEB投票を導入した。</p> <p>区民向けに個人でもできる緑のカーテンづくりの普及をはかり、その効果（緑の満足度の向上・ヒートアイランド現象の緩和）についてPRする必要がある。</p> <p>緑のカーテンモデル設置支援では、施設の設置状況に応じた支援資材の有効活用を図り経費節減に努めた。</p>

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	公共施設・民間建築物の屋上等緑化推進事業				6
目的	ヒートアイランド現象を緩和するため、民間施設及び公共施設の屋上緑化を推進する。				主管課・係(担当)
					環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対象者	公共施設、屋上等緑化整備補助金を利用する区民。区内の民間建築物。				
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン、第二次墨田区緑の基本計画 墨田区の緑の推進に関する要綱(第5条)、墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上等緑化補助金</li> <li>・学校の環境施設維持補修</li> <li>・屋上緑化建築物安全点検</li> <li>・民間建築物屋上緑化点検</li> <li>・公共施設屋上緑化点検</li> <li>・屋上・壁面緑化見学ツアー(緑の探検隊)</li> </ul>				
経過	開始年度				終了予定
	<p>平成14年度 庁舎屋上緑化見本コーナー開設(庁舎大規模改修工事に伴い、平成26年7月撤去)</p> <p>平成15年度 屋上緑化整備に対する補助事業開始</p> <p>平成15年度 開発指導要綱に基づく屋上等緑化指導開始</p> <p>平成20年度 集合住宅条例に基づく屋上等緑化指導開始</p> <p>大規模開発時や集合住宅の建設時に屋上等緑化の設置を指導している</p> <p>平成28年度 学校等の環境施設維持補修計画策定(毎年度改定中)</p> <p>平成29年度 屋上・壁面緑化見学ツアー(緑の探検隊)開始</p>				
議会質問 の状況	平成29年10月 決特 既存屋上緑化の維持管理の徹底 令和2年2月 予特 学校の環境施設(屋上緑化)の現状と今後				
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		4,067	7,273	6,872	3,306	966	2,275
A.決算額(令和4年度は見込み)		3,435	6,642	2,492	2,349	298	2,275
財源	国	0	0	0	0	0	
	都	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
一般財源		3,435	6,642	2,492	2,349	298	2,275
執行率(%)		84.5%	91.3%	36.3%	71.1%	30.8%	100.0%
B.人コスト			984	2,166	6,175	3,518	
総事業決算額(A+B)		3,435	7,626	4,658	8,524	3,816	
予算書P(令和4年度)	P130 3	執行実績報告書P(令和3年度)			P65 3		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	安全点検等	233	委託料	安全点検等	218	委託料	安全点検等	266
工事請負費	公共施設の屋上緑化補修工事	2,116	工事請負費	公共施設の屋上緑化補修工事	0	工事請負費	公共施設の屋上緑化補修工事	1,609
負担金補助及び交付金	屋上緑化整備助成金	0	負担金補助及び交付金	屋上緑化整備助成金	80	負担金補助及び交付金	屋上緑化整備助成金	400

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	屋上緑化助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	令和7年度	目標		2	2	2
				実績	0	0	2	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
	実績	0	1					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	民有地の屋上緑化推進のために屋上緑化助成制度を実施している。建築物の構造の問題や区民の自己負担に係る設置費用が比較的高額であることから、年度ごとに確定的な増加目標を設定しにくい。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	集合住宅条例及び開発指導要綱に基づく屋上緑化の整備面積				単位	m <sup>2</sup>
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
2500		令和7年度	目標		2500	2500	2500	
			実績	1690.63	1689.61	3977.73	3556.54	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		2500	2500	2500	2500	2500	2500	
実績	2805.3	3773.77						
指標の選定理由及び目標値の理由								
本区は住宅が密集した地区が多く、みどり率の向上に屋上緑化は有効な手段である。集合住宅条例及び開発指導要綱に基づく敷地面積300m <sup>2</sup> 以上の民間建築物であれば屋上緑化整備の対象となるため、指標とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	既存公共施設の屋上緑化は、計画に基づき維持補修を実施して良好な状態に保つ。屋上緑化は都市部の緑地を増やす有効な手段であることから、更なる普及啓発を図り設置を推進していく。

課題・問題点
民間建築物の屋上緑化は条例・要綱による指導で着実に増えている。補助金については、条例・要綱に基づく設置は対象外であることや、既存建築物の場合は構造的に設置が難しい場合があるため申請件数が少ない。



補助金名	屋上等緑化整備補助金		主管課・係（担当）			
根拠法令	墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱			環境保全課緑化推進担当		
補助概要	墨田区内に新たに屋上等緑化をしようとする者に1㎡当たり1万円又は、工事費（税抜）の半額のいずれか少ない額を助成する。			03-5608-6208		
目的	緑の満足度の向上、地球温暖化防止やヒートアイランド現象の緩和に寄与する屋上緑化の民有地への設置を促すため。					
対象	新たに屋上等緑化をしようとする建築物を所有する個人及び中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人					
基準	区独自基準					
補助条件	新たに建築物の屋上や屋根のないルーフバルコニー等に1㎡以上の緑地を設けた場合。					
経過	開始年度	平成15年度	終了予定			
	平成15年4月1日 屋上等緑化整備補助制度開始。 平成31年4月1日 「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。消費税の取扱いについて明記。					
議会質問の状況	平成29年度 決特 既存屋上緑化の維持管理の徹底 令和2年度 予特 学校の環境施設（屋上緑化）の現状と今後					
その他特記事項						

予算・決算額推移（千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算額（事業費）		800	740	740	740	400	400
決算額（令和4年度は見込み）		0	570	0	0	80	400
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	570	0	0	80	400
執行率（％）		0.0%	77.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	屋上緑化助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	令和7年度	目標		2	2	2
				実績	0	0	2	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	0	1				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	民有地の屋上緑化推進のために助成制度を実施している。建築物の構造上の問題や、緑化工事費が高額であることから、年度ごとの大幅な件数の増加は望めない。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	助成による屋上緑化面積（事業開始年度からの累計）				単 位	m <sup>2</sup>
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2,516.00	令和7年度	目標		2,276.00	2,306.00	2,336.00
				実績	2,246.80	2,246.80	2,328.60	2,328.60
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		2,366.00	2,396.00	2,426.00	2,456.00	2,486.00	2,516.00	
実績		2,328.60	2,337.18					
指標の選定理由及び目標値の理由								
各年度の申請には差異があるため、累計での目標値とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	既存公共施設の屋上緑化は、計画に基づき維持補修を実施して良好な状態に保つ。屋上緑化は都市部の緑地を増やす有効な手段であることから、更なる普及啓発を図り設置を推進していく。

課題・問題点
民間建築物の屋上緑化は条例・要綱による指導で着実に増えている。補助金については、条例・要綱に基づく設置は対象外であることや、既存建築物の場合は構造的に設置が難しい場合があるため申請件数が少ない。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事業名	緑のへい設置奨励費		7
目的	道路に面した沿道部へ、新たに生け垣や植樹帯の設置及びそれに伴うブロック塀の取り壊しをする区民に対し、助成を行い「緑の満足度」の向上や「防災」に寄与する。		主管課・係(担当)
			環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対象者	道路に面して道路通行者から十分視認できると認められる場所に緑のへい等を新たに設置し、又は緑のへい等ではないブロック塀等を緑のへいに造り替える区民		
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン、墨田区緑の基本計画 墨田区の緑化の推進に関する要綱(第5条)、緑のへい等設置補助金等交付要綱		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤1
事業内容	道路に面した沿道部へ、新たに生け垣や植樹帯の設置及びそれに伴うブロック塀等の取り壊しをする区民に対し、助成を行う。		
経過	開始年度	昭和48年度	終了予定
	昭和48年4月1日 「緑のへい設置奨励金交付実施細目」制定(生け垣、植樹帯の区分無し)。 平成元年4月1日 植樹帯の補助新設。「緑のへい等設置奨励金等交付実施細目」に改める。 平成3年4月1日 「緑のへい等設置補助金等交付要綱」制定。実施細目は廃止。 平成14年4月1日 改正。補助金額に上限を設ける。 平成28年10月1日 改正。納税確認の追加等、定義・要件を見直した。 平成31年4月1日 改正。消費税の取扱いについて明記。		
議会質問 の状況	平成31年予特 通学路ブロック塀撤去のための見直し【約束事項:完結】		
その他 特記事項			

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		740	680	680	680	420	420
A.決算額(令和4年度は見込み)		375	257	43	636	0	420
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0		0	0
	その他	0	0	0		0	0
一般財源		375	257	43	636	0	420
執行率(%)		50.7%	37.8%	6.3%	93.5%	0.0%	100.0%
B.人コスト			7,875	787	3,529	880	
総事業決算額(A+B)		375	8,132	830	4,165	880	
予算書P(令和4年度)	P130 4	執行実績報告書P(令和3年度)		P65 4			

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	補助金	636	負担金補助及び交付金	補助金	0	負担金補助及び交付金	補助金	420

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	緑のへい等助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		3	令和7年度	目標	3	3	3	
				実績	2	3	2	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	3	3	3	3	3	3	
	実績	4	0	0				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	PRの効果や緑を増やす区民の取り組み状況が計れる。目標値は、過去の実績から設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	生け垣の長さ(平成元年度からの累計)				単位	m
最終目標値		目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1		
1,183.00		令和7年度	目標	1,103.00	1,113.00	1,123.00		
			実績	1,092.95	1,108.35	1,115.75	1,125.75	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	1,133.00	1,143.00	1,153.00	1,163.00	1,173.00	1,183.00		
実績	1,150.03	1,150.03						
指標の選定理由及び目標値の理由								
各年度の申請(生け垣長さ)には差異があるため、累計での目標値とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	緑の満足度を高める有効な施策であり、一定の実績がある。PRを進めて利用促進を図る。

課題・問題点
条例・要綱の対象となる建築物は対象外であることや、敷地内に緑地を設ける場所が少ないため大幅な申請件数増加は難しい。

補助金名称	緑のへい等設置補助金		主管課・係（担当）			
根拠法令	緑のへい等設置補助金等交付要綱		環境保全課緑化推進担当			
補助概要	墨田区内に新たに生け垣又は植樹帯を設置する者に対し、生け垣の場合1m当たり20,000円又は工事費（税抜）のどちらか少ない額、植樹帯の場合1㎡当たり24,000円又は工事費（税抜）のどちらか少ない額を助成する。		03-5608-6208			
目的	道路に面した沿道部へ、新たに生け垣や植樹帯の設置及びそれに伴うブロック塀等の取り壊しをする区民に対し、助成を行い「緑の満足度」の向上や「防災」に寄与する。					
対象	道路に面して道路通行者から十分視認できると認められる場所に緑のへい等を新たに設置し、又は緑のへい等ではないブロック塀等を緑のへいに造り替えた者					
基準	区独自基準					
補助条件	新たに沿道部に生け垣又は植樹帯を設けた場合。					
経過	開始年度	昭和48年度	終了予定			
	<p>昭和48年4月1日 「緑のへい設置奨励金交付実施細目」制定（生け垣、植樹帯の区分無し）。植樹帯の補助新設。「緑のへい等設置奨励金等交付実施細目」に改める。</p> <p>平成元年4月1日 「緑のへい等設置補助金等交付要綱」制定。実施細目は廃止。</p> <p>平成3年4月1日 改正。補助金額に上限を設ける。</p> <p>平成14年4月1日 改正。納税確認の追加等、定義・要件を見直した。</p> <p>平成28年10月1日 改正。消費税の取扱いについて明記。</p> <p>平成31年4月1日</p>					
議会質問の状況	平成31年予特 通学路ブロック塀撤去のための見直し【約束事項：完結】					
その他特記事項						

予算・決算額推移（千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算額（事業費）		740	680	680	680	420	420
決算額（令和4年度は見込み）		375	257	43	636	0	420
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		375	257	43	636	0	420
執行率（％）		50.7%	37.8%	6.3%	93.5%	0.0%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	緑のへい等助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3	令和7年度	目標		3	3	3
				実績	2	3	2	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績	4	0	0			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑のへいには視覚的効果があり、災害時には被害を抑制できるため、窓口やイベントで制度をPRして利用者を増やしていく。ただし、区内は住宅密集地が多く、設置できる場所が限られているため、年度ごとの大幅な件数の増加は望めない。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	生け垣の長さ（平成元年度からの累計）				単位	m
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,183.00	令和7年度	目標		1,103.00	1,113.00	1,123.00
				実績	1,092.95	1,108.35	1,115.75	1,125.75
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		1,133.00	1,143.00	1,153.00	1,163.00	1,173.00	1,183.00	
実績		1,150.03	1,150.03					
指標の選定理由及び目標値の理由								
各年度の申請（生け垣長さ）には差異があるため、累計での目標値とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	緑の満足度を高める有効な施策であり、一定の実績がある。PRを進めて利用促進を図る。

課題・問題点
条例・要綱の対象となる建築物は対象外であることや、敷地内に緑地を設ける場所が少ないため大幅な申請件数増加は難しい。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	森林整備体験事業				8
目的	環境学習の促進				主管課・係(担当)
					環境保全課緑化推進担当 内線 5465
対象者	小学生以上の区民				
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン 第二次墨田区緑の基本計画				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1、委託先:有限会社高見林業
事業内容	6月初旬:植林体験 8月初旬:林業機械操縦体験 10月下旬:間伐体験				
経過	開始年度	平成23年度		終了予定	
	[平成19年度]間伐体験を試行実施(山梨県山梨市ライオン山梨の森) [平成20年度~22年度]植林・下草刈り・間伐体験実施(山梨県山梨市ライオン山梨の森) [平成23年度~]植林・間伐体験の会場変更(栃木県鹿沼市) [平成28年度~]林業機械操縦体験開始				
議会質問 の状況	平成29年決特・令和2年予特 実施回数を増やす検討				
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		586	607	611	0	378	370
A.決算額(令和4年度は見込み)		275	443	296	0	111	370
財源	国	0	0	0	0	0	
	都	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
一般財源		275	443	296	0	111	370
執行率(%)		46.9%	73.0%	48.4%	#DIV/0!	29.4%	100.0%
B.人コスト			5,906	4,922	1,764	4,398	
総事業決算額(A+B)		275	6,349	5,218	1,764	4,509	
予算書P(令和4年度)	P130 7		執行実績報告書P(令和3年度)			P66 7	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
旅費	出張旅費	0	旅費	出張旅費	2	旅費	出張旅費	11
需用費	事務用品等購入	0	需用費	事務用品等購入	0	需用費	事務用品等購入	5
役務費	参加者保険料	0	役務費	参加者保険料	1	役務費	参加者保険料	3
委託料	森林整備体験指導委託	0	委託料	森林整備体験指導委託	100	委託料	森林整備体験指導委託	300
使用料及び賃借料	高速道路通行料	0	負担金補助交付金	高速道路通行料	8	使用料及び賃借料	高速道路通行料	51

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	森林整備体験開催回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		3	令和7年度	目標		3	3	3
				実績	3	3	3	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
	実績	0	1					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区内では経験することができない、植林・間伐作業、林業機械の操縦体験や緑や森林の役割について、学ぶ機会を提供する。体験作業の実施に適した季節に限られることから、目標値の増加は困難である。 令和3年度については、まん延防止等重点措置が解除された時期に、間伐体験を実施した。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	森林整備体験参加者数(延べ)				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
45		令和7年度	目標		45	45	45	
			実績	43	41	35	50	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		45	45	45	45	45	45	
実績	0	10						
指標の選定理由及び目標値の理由								
区民が体験を通して、緑の大切さ、森林の役割、地球温暖化等に対して、どの程度関心を持っているのかわかることができるため。令和3年度については、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、間伐体験以外は中止したため実績が減少している								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	環境学習の機会を引き続き提供していく。多くの区民に体験していただき、その学習成果を生かせる仕組みを構築していく。

課題・問題点
新型コロナウイルス感染防止のための「新しい日常」を取り入れた実施方法を協力者（栃木県・鹿沼市・林業事業者）と検討して、安全に実施していく必要がある。



施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	特別保全樹木補助事業				9
目的	区内に残された自然度の高い貴重な保全樹木等の所有者又は管理者に対し、その維持管理費の一部及び樹木診断等に要する経費の一部を補助すること(各1年に1回限り)により、生活環境の保全及び快適な環境の確保を図ることを目的とする。				主管課・係(担当)
					環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対象者	特別保全樹木等を所有若しくは管理する個人、中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人、宗教法人、住宅管理組合又は町会若しくは自治会				
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン、緑の基本計画、墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1
事業内容	以下の条件を満たす特別保全樹木等の剪定等維持管理又は樹木診断等を行った場合、その経費の一部を助成する。 1 樹木 地上1.5mの高さにおける幹の周囲が1.2m以上あり生育状況が健全であること。 2 生垣 高さ1m以上、総延長30m以上で道路に面しており、生育状況が健全であること。				
経過	開始年度	平成21年度		終了予定	
	平成21年4月1日 特別保全樹木補助事業開始。 令和2年4月1日 「墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱」改正。樹木診断等に要する費用の補助を新設。 【特別保全樹木等指定状況(R4.3.31現在)】 樹木 29箇所 159本 生け垣 2箇所 189m				
議会質問の状況	令和元年3定 樹木診断助成の新設【約束事項:完結】				
その他特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		614	380	380	380	372	360
A.決算額(令和4年度は見込み)		519	326	226	224	289	360
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		519	326	226	224	289	360
執行率(%)		84.5%	85.8%	59.5%	58.9%	77.7%	100.0%
B.人コスト			984	984	3,529	880	
総事業決算額(A+B)		519	1,310	1,210	3,753	1,169	
予算書P(令和4年度)	P130 3	執行実績報告書P(令和3年度)			P65 3		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	特別保全樹木助成金	224	負担金補助及び交付金	特別保全樹木助成金	289	負担金補助及び交付金	特別保全樹木助成金	360

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	特別保全樹木助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		10	令和7年	目標		8	9	9
				実績	7	6	7	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	10	10	10
	実績	6	6					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	補助制度の利用者に偏りが見られるため、特別保全樹木の所有者及び管理者に改めて制度を周知し、助成件数を増やしていく必要がある。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	特別保全樹木指定件数(事業開始年度からの累計)				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		30	令和7年	目標		30	30	30
			実績	30	30	29	29	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		30	30	30	30	30	30	
実績	30	30						
指標の選定理由及び目標値の理由								
本区は関東大震災と戦災、その後の都市化の進行に伴い、新規指定できる樹木は少ない状況にある。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	事業の区民への周知を通して、良質かつ貴重な樹木等を未来に引き継いでいくことの大切さを周知していく必要がある。

課題・問題点
特別保全樹木等に指定された樹木等について、区民により広く知られるようPRしていく。

補助金名称	特別保全樹木等補助金			主管課・係（担当）		
根拠法令	墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱			環境保全課緑化推進担当		
補助概要	(1) 剪定等の維持管理に要する経費の補助 樹木：剪定等維持管理に要する経費の半額又は、2万円/1本のいずれか少ない額 生け垣：500円/1m (2) 樹木診断等に要する経費の補助 樹木診断等に要する経費の半額又は、2万円/1件のいずれか少ない額			03-5608-6208		
目的	区内に残された自然度の高い貴重な保全樹木等の所有者又は管理者に対し、その維持管理費の一部及び樹木診断等に要する経費の一部を補助すること（各1年に1回限り）により、生活環境の保全及び快適な環境の確保を図ることを目的とする。					
対象	特別保全樹木等を所有若しくは管理する個人、中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人、宗教法人、住宅管理組合又は町会若しくは自治会					
基準	区独自基準					
補助条件	以下の条件を満たす特別保全樹木等の剪定等維持管理又は樹木診断等を行った場合。 1 樹木 地上1.5mの高さにおける幹の周囲が1.2m以上あり生育状況が健全であること。 2 生垣 高さ1m以上、総延長30m以上で道路に面しており、生育状況が健全であること。					
経過	開始年度	平成21年度		終了予定		
	平成21年4月1日 特別保全樹木補助事業開始。 令和2年4月1日 「墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱」改正。樹木診断等に要する費用の補助を設ける。 【特別保全樹木等指定状況（R4.3.31現在）】 樹木 29箇所 159本 生け垣 2箇所 189m					
議会質問の状況						
その他特記事項						

予算・決算額推移（千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算額（事業費）		400	380	380	380	372	360
決算額（令和4年度は見込み）		305	326	226	224	289	360
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		305	326	226	224	289	360
執行率（％）		76.3%	85.8%	59.5%	58.9%	77.7%	100.0%

補助金の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	特別保全樹木助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		10	令和7年度	目標		8	9	9
				実績	7	6	7	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	10	10	10
		実績	6	6				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	本助成制度の利用状況を指標として、貴重な樹木等の保全を図る。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	特別保全樹木指定件数（事業開始年度からの累計）				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		30	令和7年度	目標		30	30	30
				実績	30	30	29	29
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		30	30	30	30	30	30	
実績		30	30					
指標の選定理由及び目標値の理由								
本区は関東大震災と戦災、その後の都市化の進行に伴い、新規指定できる樹木は少ない状況にある。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	事業の区民への周知を通して、良質かつ貴重な樹木等を未来に引き継いでいくことの大切さを周知していく必要がある。

課題・問題点
特別保全樹木等に指定された樹木等について、区民に知っていただく機会が必要である。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	緑化推進事業				10
目的	緑化を推進するための啓発事業を実施することで、区民が緑に親しむ機会を増やし、緑の満足度を向上させる。				主管課・係(担当)
					環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対象者	広く一般区民。				
根拠法令 関連計画	墨田区の緑化の推進に関する要綱第2条、第二次墨田区緑の基本計画				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤:3
事業内容	緑化啓発を目的とした、各種緑化講習会等を実施している。 集合住宅及び大規模建築物への緑地整備について指導している。				
経過	開始年度				終了予定
	平成15年度 開発指導要綱に基づく屋上等緑化指導開始 平成20年度 集合住宅条例に基づく屋上等緑化指導開始 大規模開発時や集合住宅の建設時に屋上等緑化の設置を指導している 令和3年4月1日 緑の愛護に関する規程の改正 緑の推進会議の設置				
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		553	553	536	536	511	430
A.決算額(令和4年度は見込み)		453	360	391	295	296	430
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		453	360	391	295	296	430
執行率(%)		81.9%	65.1%	72.9%	55.0%	57.9%	100.0%
B.人コスト						6,157	
総事業決算額(A+B)		453	360	391	295	6,453	
予算書P(令和4年度)	P130 6		執行実績報告書P(令和3年度)			P65 6	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	0	報償費	講師謝礼	15	報償費	講師謝礼	20
旅費	担当者会議等出張	3	旅費	担当者会議等出張	1	旅費	担当者会議等出張	17
需用費	講習会材料等	192	需用費	講習会材料等	192	需用費	講習会材料等	203
役務費	郵送料	1	役務費	郵送料	0	役務費	郵送料	1
委託料	会場設営等	99	委託料	会場設営等	88	委託料	会場設営等	189

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	緑化講習会等の参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		170	令和7年度	目標		1450	1460	1470
				実績	1404	1053	880	691
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1480	1490	170	170	170	170
	実績	34	79					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑化講習会等を緑と花の学習園等で開催することで、緑化の推進・啓発を図り新たな緑を増やすことに繋がるため、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講習会等の規模を縮小して実施しているため目標値を下げた。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	住民意識調査における「生活環境評価 緑の豊さ」で「やや良い・良い」と回答した区民の割合				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
29.11		令和7年度	目標		25.99	26.38	26.81	
			実績	25.6	25.6	23.5	23.5	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		27.2	27.59	27.98	28.37	28.76	29.15	
実績	27.2	27.2						
指標の選定理由及び目標値の理由								
身近に感じられる緑や緑にふれる機会の充実度を指標として、日々の暮らしにうるおいを感じられるように、緑の満足度を向上させる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	みどり率・緑の満足度の向上に向けて、緑化の諸施策をさらに推進していく。また、新型コロナウイルス対策を考慮した講習会を開催する等柔軟に対応していく。千葉大学と連携して、持続可能なボランティア活動について調査研究を進めていく。

課題・問題点
区民が緑を大切にするように講習会等の啓発事業を、新型コロナウイルス感染防止のための「新しい日常」を取り入れた実施方法や動画配信等の新しい情報発信等PRの方法の検討が必要である。